

## 地 域 再 生 計 画

### 1．地域再生計画の名称

多様な観光名所の連携による活性化計画

### 2．地域再生計画の作成主体の名称

群馬県、沼田市、勢多郡東村

### 3．地域再生計画の区域

桐生市、沼田市並びに群馬県勢多郡東村、利根郡川場村及び山田郡大間々町の全域

### 4．地域再生計画の目標

群馬県の北東部に位置する「桐生市・沼田市・東村・川場村・大間々町」地区は、豊富な森林資源と多くの観光施設に恵まれている山間地域であり、桐生市の梅田湖、沼田市の老神温泉、東村の袈裟丸山や小中大滝、大間々町の小平の里等、四季を通じて、観光客が様々な目的で訪れている。

古くから重要な交通路である国道120号、122号、また近年の主要地方道沼田・大間々線の拡幅等、地域の軸となる路線の整備は概ね完成している。

しかしながら、国道等の主要道路からの観光名所へ続くアクセス道路、または観光名所と観光名所をつなぐ路線の整備は不十分で、その整備が課題となっている。

また、計画区域面積の80%(約6万9千ha)を森林が占めており、森林の適正な維持管理、山村地域の生活環境改善のための林道整備が求められている。

このため、計画地域内において、観光地への市道と森林地域の林道を効率的に整備、接続することにより

森林へのアクセスを容易にし、林道周辺の森林の整備推進を図る。

訪れる人が効率的に、豊かな自然や観光施設の利用を可能とすることで、訪問者の増加による地域の活性化を図る。

住民にとっても集落間の効率的な移動が出来、活力のある住みよい地域作りを行う。

(目標1) 林業の振興(現在の森林整備面積722haから10%増加)

(目標2) 道路整備による観光客の増加(現在9697千人から10%増加)

### 5．目標を達成するために行う事業

#### (5-1) 全体の概要

沼田市(旧利根村)の市道2路線の整備を行い、温泉地へのアクセスを容易にするとともに、林道青木輪久原線の拡幅、赤倉栗生線の開設を行い、国道120号からのネットワークの構築と路線周辺の森林施業の効率化等を図る。

勢多郡東村にある林道小中西山線、小中新地線の改良・舗装、桐生市と大間々町を結ぶ林道梅田小平線の開設・改良を行い、森林整備の推進、豊かな自然へのアクセスを確保し、山村地域の活性化を図る。

市道「(1)T105号線」	昭和56年3月18日	認定
市道「(1)T108号線」	昭和56年3月18日	認定
林道「赤倉栗生線」	利根上流	地域森林計画書(平成16年度)
林道「青木輪久原線」	利根上流	地域森林計画書(平成16年度)
林道「小中西山線」	利根下流	地域森林計画書(平成14年度)
林道「小中新地線」	利根下流	地域森林計画書(平成14年度)
林道「梅田小平線」	利根下流	地域森林計画書(平成14年度)

(5-2) 法第四章の特別の措置を適用して行う事業  
道整備交付金を活用する事業

[施設の種類(事業区域)、事業主体]

・市道	(沼田市)	沼田市	
・林道	(沼田市)	群馬県	沼田市
	(利根郡川場村)	群馬県	
	(勢多郡東村)	群馬県	勢多郡東村
	(大間々町)	群馬県	
	(桐生市)	群馬県	

[事業期間]

- ・市道(平成17~21年度)、林道(平成17~21年度)

[整備量及び事業費]

- ・市道 1.1km、林道 14.2km
- ・総事業費 24億5千1百万円
 

市道	5億8百万円(うち交付金2億5千4百万円)
林道	19億4千3百万円(うち交付金9億7千1百50万円)

(5-3) その他の事業

5月から11月にかけて毎日開かれる朝市や5月に開催される赤城神社の大蛇まつり等のイベントを活用し、当地域を訪れる観光客の増加を図る。

6. 計画期間

平成17年度~21年度

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い状況を把握・公表するとともに、関係行政機関等からなる協議会を開催し、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし。